

さくらそう

第10号 平成27年3月

さいたま市シニアユニバーシティ
校友会連合会

発行者 連合会会長 高松 常太郎

編集者 広報部長 山内 嘉雄

ごあいさつ

元気で長生き

さいたま市シニアユニバーシティ校友会連合会
会長 高松 常太郎

皆様 平素から「さいたま市シニアユニバーシティ校友会連合会」にご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

早いもので、本日「さくらそう」も第10号発行の運びとなりました。

この1年間を振り返りますと、3042名の校友会員のもと、各校協議会の活動には、眼を見張るばかりの、素晴らしい躍進ぶりです。これは役員及び関係者の、裏方の努力なくして成り立たないと思っています。

昨年10月3日より10月7日まで、「第27回ねんりんピック（健康福祉祭）栃木大会」が開催され、市より副団長の命を受け、参加してきました。10月3日午後5時 宇都宮駅西口に47都道府県と20の政令指定都市の選手・役員が約2万人集合し、新宿駅を彷彿とさせる大混雑でした。24種目の競技会の中には91歳の宮崎県代表選手もいます。私は初めての参加でしたが、さいたま市のご担当の方々とNPO五藤事務局長が、この日までの準備のため見えない努力を下さったことが初めて解かり、改めて敬意・感謝・尊敬の念を深めました。

各県のユニフォームは、熟年大会とは思えないあでやかさで、若者の集まりのような、まるでファッションショーのような光景で、驚嘆しました。

開会式は常陸宮様御夫妻の祝詞、ガッツ石松と娘さんの聖火点火、森昌子さんの陸上競技場にいる2万人に届かんばかりの「せんせい」他2曲の歌唱、中学生・高校生も参加しての栃木県民挙げての「おもてなし」には感動しました。

10月23日大宮校協議会主催第3回演芸発表会では、5校の友情出演を頂き、さらに親交が深められたと思っています。埼玉新聞社の催し案内掲載、テレビ埼玉の当日放映等、有難うございました。

連合会の10月1日の共同募金活動では、213千円の募金となりました。

またボランティア活動として市内の介護施設に慰問で廻っていますが、11月には大宮校8期校友会が市と県から表彰を受けています。

2月22日の芸能発表会の会場では、埼玉福祉事業協会「杉の子マーケット」の手作りのパンや洋菓子を販売していただき、約5万円の売り上げで、喜んでもらいました。

来年4月、我々の仲間での私の親友の君原健二さんが、ボストンマラソンに25才で優勝した50年目の招待を受け、ボストンを走ります。私達で、応援を兼ね日の丸を持って、アメリカ東海岸観光旅行を企画中です。

私達は、今後の老人が老人を支える社会に、役に立ち貢献する晩節を送ることに心がけて行きます。それが人生目標と思っています。



大宮校協議会報告

第3回演芸発表会 (10期 高田 彰二)

平成26年10月23日(木) 於:北区プラザノース ホール

当日は雨天の予報でしたが雨は降らずひと安心。

第3回となった今回、出し物はカラオケ、コーラス、舞踊、フラダンス、フォークダンス、体操、楽器演奏(チェロ・ウクレレ・オカリナ・キーボード)、詩吟、マジック、腹話術と本当にバラエティに富み、出演者(36組)、さらには入場者(355名)とも過去最高となり、この催しがしっかりと定着してきたことを感じました。

特に、今回初めて他校から友情出演していただいたことでより盛り上がったように思います。また、テレビ埼玉報道部記者が取材のため来場し、「ニュース930」で演芸発表会の様子が紹介されたことも良い記念となりました。

反面、事前の取り組みや当日の運営などにおいて、反省すべき点、改善できることがいくつかあり、次回の課題となりました。

最後になりましたが、演芸発表会の開催・運営にあたり温かいご支援と多大なご協力をいただいた多くの皆さまに心から感謝申し上げます。

“ありがとうございました”



岩槻校協議会報告

シニア岩槻校協議会の活動について

シニア岩槻校協議会会長 仲代 勝匡

岩槻校協議会会長に就任して1年がたちました。

平成26年度を顧みると確実に高齢化社会となりました。高齢者をねらう犯罪がニュースとまらない日はない有様です。災害や交通事故等の被害者にシニアの占める割合は決して低くはありません。備えあれば患いなしといえます。被害者にならないよう其々が過信せず、注意して頑張っていきたいと思えます。

岩槻協議会活動も会員「346名」で予算が組まれ、計画案にそって実行されました。

7月、9月、12月、本丸公民館で学習講演会が開催されました、参加者は述べ920人。

9月26日、岩槻の森運動公園でグランドゴルフ大会を実施、好天に恵まれ26名が参加されました。

10月1日は地域活動として、東岩槻駅前、岩槻駅前で赤い羽根共同募金に協力しました、各期5名の参加、募金合計は76795円でした。

11月3日、岩槻区の行事、鷹狩行列にシニア大学校友会協議会の代表者9名が参加しました。

11月7、8、9日、文化活動として本丸公民館に於いて岩槻協議会文化祭が開催され、芸能発表、作品展示がされました、参加者は532名、盛会でした。

連合の活動は2月20、21、22、23日の4日間にわたり、埼玉会館で文化祭が開催されました。岩槻協議会が主幹で展示担当となり、担当者、会員の皆様のご協力を得て、無事に役目を果たすことができました。

3月5日、研修と、親睦を兼ねた日帰りバス旅行が行われ、横浜三溪園、中華街、方面へ行って来ました、参加者155名です。

今年度から7期の皆様が協議会に復帰することになりました、ご報告いたします。健康を心掛け、会員の皆様と支え合ながら有意義な協議会活動をしていきたいと念じています、ご協力をよろしくお願い致します。



岩槻駅前での赤い羽根共同募



鷹狩り行列に参加



岩槻校協議会文化祭演芸発表会開会式

大宮中央校協議会報告

「赤い羽根共同募金」

10月1日（水）社会貢献事業として、赤い羽根共同募金活動が実施されました。



場所は大宮駅西口デッキ、時間は午後1時から3時40分です。参加者は6期から13期迄各期5名以上、総勢50名。最初の声掛けは皆さん遠慮勝ちですが、慣れるに従い堂に入った声掛けに変わっていきました。生憎、肌寒く一時雨模様で天候には恵まれませんでした。大宮駅西口デッキ通行の皆さんの温かいご支援により、31,000円以上の寄付がありました。各期会長、各期参加者の皆さんご協力ありがとうございました。

12期会長 原田 信政

「グラウンド・ゴルフ大会」

10月3日（金）健康増進活動事業の一環としてグラウンドゴルフ大会を開催いたしました。



大変に心配していたお天気も担当期、関係者の日頃の心がけが良かったのか？当日は夏日のような秋晴れの好天に恵まれ、会場は西区の番場公園グラウンドで行われました。

参加者は（6期：7名、7期：18名、8期：10名、9期：17名、10期：13名、11期：13名、12期：11名、13期：3名）総勢91名のエントリーがありましたが、当日を含め6名のキャンセルが出て、各期の精鋭85名が32ホールを、各自日頃の練習の成果を発揮し熱戦が繰り広げられました。そうした中、日頃の力が出し切れない方、また黙々とプレーする方、いろいろの人間模様が垣間見られる大会とまりました。しかし皆さん和気藹々と各期との交流も図られ事故もなく秋の一日を楽しく過ごす事ができ、大変有意義な大会であり、健康増進活動にはふさわしい行事で終了することが出来ました。

優勝（男子） 9期 岸 信弘さん 優勝（女子） 8期 長谷 トキ子さん

（文 7期 大野 光幸 写真 7期 長岡 照夫）

「文化講演会」

テーマ **【終活の前に今なにをなすべきかを考えよう】**

実施日時 2014年11月21日（金）14時～15時半

場所 ノースプラザ

講師 隅内道三（スミウチ ミチゾウ） 株合同会計

内容概略 終活とは、自らの終い支度、つまり「人生の終わりのための活動」を略したもので、人が人生の最後を迎えるにあたってやるべき活動の総括を意味する言葉です。この活動を行うに当たって、資料を基に講義していただきました。

大変興味深い内容でした。 11期会長 伊藤 光雄



北大宮校協議会活動報告

1) 社会科研修旅行

1. 日 時 7月2日(水) 6時～22時
2. 場 所 東日本大震災3年目宮城県石巻市
3. 参加者 36名

宮城県石巻まで片道500km日帰りバスツアーを実施。北区役所を朝6時半に出発、岩槻インターから東北自動車道約5時間、途中2回の休憩を取りながら現地へ、松島の遊覧船の中で地元ボランティアの説明を聞きながら松島湾を横断。下船して昼食の後バスで市内を巡りました。途中「絆地蔵」の前で津波の襲った様子と被害を聞き記念写真を撮りました。沿岸沿いの平地は瓦礫が取り除かれています、復興は始まったばかりという感想を目に焼き付けて地元の海産物を購入して午後九時帰路につきました。帰りのバスは幹事さんの努力で楽しいビンゴゲームと景品で大いに盛り上がりました。

皆さんの疲れ様でした！



2) 健康増進活動

1. 日 時 9月24日(水) 9時～16時30分
2. 場 所 比企郡吉見町
「フレンドシップハイツよしみ」
3. 参加者 42名

フレンドシップハイツよしみをベースにグランドゴルフ、史跡巡り、ハイキング、カラオケのコースに分かれて午前中は競技、比企丘陵の自然と歴史や喉自慢で楽しみました。そして汗を風呂で流した午後は、約2時間の宴で午前中の活動報告後、参加者全員が自慢の喉をご披露、今回の健康増進活動を通じて、北大宮校協議会の仲間が一つになりました。



3) クリスマスコンサート開催

“大宮フィルハーモニー管弦楽団を迎えて”

1. 日 時 12月13日(土) 15時30分開場
演奏：16時30分～18時30分
2. 場 所 プラザノース 2階多目的ルーム
3. 参加者 約140名

大宮フィルハーモニー管弦楽団を迎えてのクリスマスコンサートも今年で3回目になりました。今回はコンサートマスターによる演奏曲目にちなんだ本の紹介をして頂きながら時代背景やエピソードを聞いての演奏で大変楽しいコンサートでした。

北大宮校協議会会員皆様のご協力により校友会会員・家族以外にも大宮校、大宮中央校等の他校の皆様及び近隣住民の方々の多数の参加を頂き、楽しい演奏を聴きながらひと時を過ごし、会員間の親睦また地域住民との交流を図ることが出来ました。



東浦和校協議会活動報告

映画会「アオギリにたくして」

2014年11月13日(木) パルコ・コムナーレ10F、多目的ルームにて、二百数十名の参加を得て標記映画会を開催いたしました。シニアユニバーシティ東浦和校協議会主催によるものです。

効果的に鑑賞できるよう、前半分のフロアを使わず実施しましたので、客席は満席状態、熱気にあふれた映画会になりました。

参加者の多くから感動したという声が寄せられ、終了後のグッズ販売や寄付活動にもたくさんの協力がありました。上映に関わったスタッフの皆様から、シニアユニバーシティの皆様によろしくという感謝の言葉がありました。

戦後70年になる現在、戦争を直接体験した方や記憶している方は少数派になりました。70年間戦争が無かったことは意義あることですが、戦争を知らない世代が多数を占める時代を迎え、今こそ「平和の大切さ」「二度と戦争をしない」ということを若者たちに伝えることが求められています。

そのような思いから、映画とは無縁だったシンガーソングライター中村里美さんが、借金5000万円を背負い、総括プロデューサーを務めて映画は制作されました。一部のプロの俳優さんを除き、素人の方々による映画作りとのこと。皆さんの心を動かしたのは、東日本大震災と、この映画のモデルになった実在の方、沼田鈴子さんのお話からでした。

沼田さんは、1945年8月6日、爆心地から約1キロの広島通信局で被爆しました。爆風で下敷きになって左足首を失い、4日後には化膿が進んでいた左足を、太ももからノコギリで切断しました。その日は、何事もなければ結婚式を予定していた沼田さんでしたが、婚約者は戦死し、自らは片足を失い、絶望の中で自殺することばかり考えるようになりました。そんな折、通信局の敷地で熱風と熱線で幹の半分が焼け焦げ、真ん中がえぐられていたアオギリに新芽が出ていることを見つけ、生きる勇気を得ました。「自分にもできることがある」「原爆の恐ろしさを伝えなければ」・・・この話を沼田さんから聞いた中村さんは「伝えなきゃ」と、がむしゃらに映画作りにまい進したとのことです。

この映画が人の心を打つのは、語り部として懸命に生きた沼田さんと、映画作りにまい進した中村さんの熱い心があるからです。

いま世界は、テロの恐怖が毎日ニュースになっています。改めて戦争のない世界をと望まずにいられません。(文責 東5期 川田隆夫)



沼田鈴子さん

平成14年第38回を迎えた恒例の『浦和おどり』

浦和市内に夏の訪れを知らせるイベントに、我が東浦和協議会が今年も地域貢献の一環として150名に及ぶ踊り部隊で参加した30℃越す暑さを物ともせず、シニアパワーを存分に発揮して約50分間踊りまくり最高潮に達した時、さいたま清水市長も飛び入り参加のハプニング有り、踊りの列も乱れがちの盛況振り、全員で楽しく踊って旧中山道の盛り上げに一役買った。そして終了後はそれぞれの「期」で打ち上げのご苦労さん宴会を開き、仲間の絆を強く、太くした夏の1日でした。



飛び入り参加された清水市長

北浦和校協議会活動報

1. 第一回演芸会開催される

11期校友会 成瀬 昭一

12月10日(水)第1回北協「演芸会」がふれあい館で開かれた。「期を超えて一堂に会する」意義を伝えた畑中会長の挨拶からはじまり、多士済済、優れたパフォーマンスが繰り広げられ、「すべて手作り、延べ200人強の方が参集」という久保実行委員長の閉会の辞で無事終わった。玄人はだしの演技もあった。自己陶醉の方もいた。結論から言えば、多くの方の手作り演芸会は、期待以上の効果を上げたと思う。我々の母体シニアユニバーシティの趣旨に「積極的な社会参加と学生間の親睦と交流を図る」とあるが、その目的は十分に達成された。「ブラボー」「うまいぞ」「ウオー」、会場と舞台が一体化したやり取りがあった。期せずして湧き起こる手拍子、舞台の歌手との合唱が始まった。あまりの歓声でつい照れる顔の晴れやかさ。メカのトラブルもあった。“マドンナ・バーバ”と紹介されたのに、終わったら“カトリーヌ・バーバ”と別名で褒められた。舞台上で「帰ってこいよ」と歌声に会場で「いやだよー！」とやり返す。シニア入学から始めたというウクレレ演奏では、突然男性の美声が和する。赤面の卑猥さも皆でやれば怖くない。シニアの趣味は奥が深い。旅はこうすれば数倍楽しい、なるほどと感心させられた。サクラではない心からの「アンコール」もあった。最後の「皆で歌おう」では、舞台と観客が実に盛り上がった。北協がひとつになった瞬間ではなかったか。それにしても舞台上で演ずる方々の上品で生き生きとした表情はどうだ。家に閉じこもっていたのでは決して生まれないものだろう。次回もあるなら、観客あるいは応援団が制限なく集まることのできる会場であってほしい。



「熱中する、夢中になる、何かが生まれる」(宇野千代)



2. 浦和おどり参加 北協浦和おどり実行委員会

浦和夏の風物詩「浦和まつり中山道会場」の開催です。

7月13日(日)旧中山道(埼玉前～さくら草通り交差点手前350m)を17:00～21:30まで、34団体が参加しました。

「北浦和校協議会連」はエントリーNo.22番、踊り手142名(サポーター:100名総勢242名)で19:00スタートしました。プラカードのキャッチフレーズ「元気ですよ!平均年齢72歳です」我々参加者の平均年齢は72歳です。

元気に踊ります。サァー出陣です。

まつり、おどり参加者及び沿道の皆さん元気で長生きして下さい。との熱い思いのメッセージを発信しました。

本部前では清水市長が飛び入りで参加し最高潮に盛り上がりました。定刻通り19:40に終了しました。

10月7日(火)コルソ7階ホールにて「第38回浦和おどり表彰式」が執り行われ、北浦和校協議会連は下記「特別賞」の浦和まつり中山道会場実行委員長賞実行委員長賞の栄誉を賜りました。他に第1ブロック「スポンサー賞」、一般賞「熱演賞」を併せて受賞致しました。



平成26年度文化祭を開催して

校友会連合会のメインイベントであります「平成26年度文化祭」(芸能発表会と作品展で構成)を、埼玉会館で2月20日(金)から23日(月)にかけて開催しました。

芸能発表会は22日(日)に開催され、開会式では主催者を代表して高松常太郎会長の挨拶、来賓としてさいたま市保健福祉局福祉部長志村様から清水市長のメッセージと心にこもった励ましのお言葉を頂き、また、NPO教育支援協会事務局長五藤様からもお祝いのご挨拶を頂きました。さらに、市議会議長霜田様からのメッセージの披露もありました。

引き続き発表会が開演され、幕開けに相応しく華やかで元気一杯な北浦和校11期の“体操的な踊り”でスタートし、各協議会代表グループ(26

グループ、出演者数:468名)による踊りやコーラスや大道芸など27演目が披露されました。この日を楽しみに日頃から練習を重ねてきた出演者達の一举一動には熟練の技が光り、演目が終わるごとに観客(総入場者数:約1000名)から大きな拍手が送られました。

また、会場ホールホワイエにブースを設け、埼玉福祉事業協会「杉の子マート」が作ったパンや洋菓子類の販売支援も行い、来場者皆様のご協力により完売しました。

作品展は、4日間に亘り絵画、手工芸、写真、書等総出品数243点を展示し、展示期間の来場者数は846名を数えました。展示品の中には、自分が想像できないような世界が描かれた作品もあり、想像力を高めてくれました。また、心が穏やかになるような作品もあり、心の栄養を得ることができました。

私たち実行委員は、“明るく・楽しく・元気よく!お互いに助け合い実行”をモットーに、文化祭の準備、運営を行ってきました。そして、多くの来場者の皆様方から賛辞が寄せられ、文化祭は無事に終了する事ができました。

昨年の7月、出演者及び出品者の募集をスタートしてから今日まで、文化祭に携わって頂いた全ての皆様に心より感謝とお礼を申し上げます。

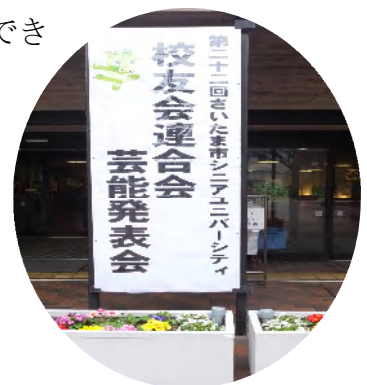
また、来年の文化祭は、南浦和の「さいたま市文化センター」で2月19日(金)から23日(火)にかけて開催致しますので、ご期待下さい。皆様のご来場を心よりお待ちしております。



宮道恵司企画部長



さいたま市保健福祉局
志村福祉部長の挨拶



高松会長の開会の挨拶 来賓と各副会長



司会者 北浦和校協議会
10期吉田裕子さん 11期有賀好子



熱心に聞く会員



大宮校 5期



大宮校 8期



大宮中央校 12期



大宮中央校 10期



北大宮校 1・2期



岩槻校全期



東浦和校校合同

北浦和校 10 期



北浦和校 9 期



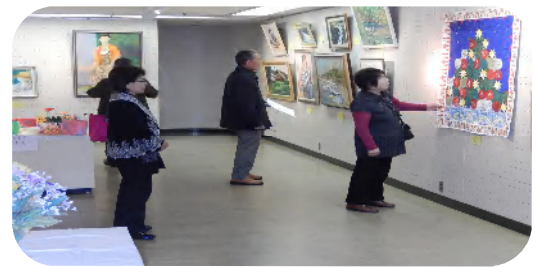
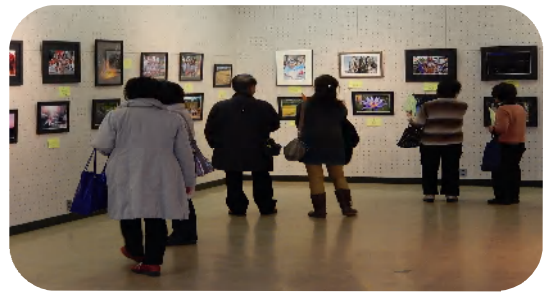
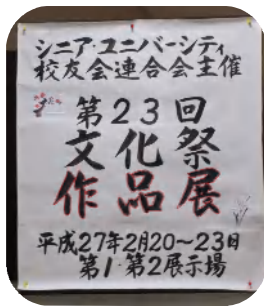
東浦和校 6 期



東浦和校 6 期



全員合唱を指揮する宮道部長



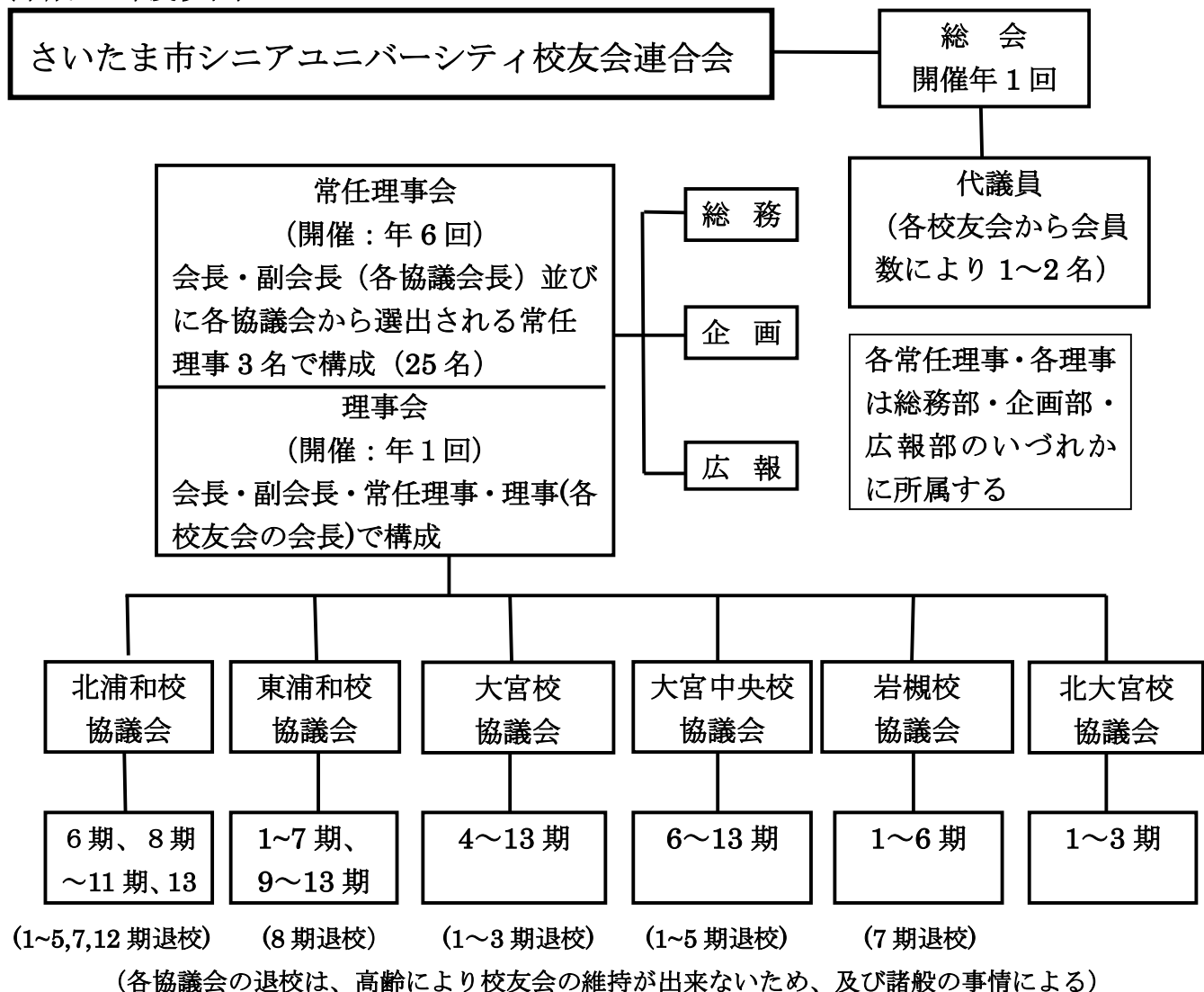
文化祭
・
作品展



シニアユニバーシティ校友会連合会組織と各校校友会について

さいたま市シニアユニバーシティは、現在、東浦和、北浦和、大宮、岩槻、大宮中央、北大宮の6校あります。それぞれの学校の大学の卒業生が、年度毎の期を中心に校友会を結成しております。いわばOB会です。各学校の年度毎の期の校友会の集まりが、協議会と呼ばれています。東浦和、北浦和、大宮、岩槻、大宮中央、北大宮の6協議会がそれにあたります。この6協議会の上にさいたま市シニアユニバーシティ校友会連合会（シニア校友会連合会）が位置し、連合会への加盟は、校友会単位となっています。シニア校友会連合会は、連合会独自の行事を主催する一方、各協議会の主な行事に助成金をだしてその活動を支援しております。

さいたま市シニアユニバーシティ校友会連合会（シニア校友会連合会）組織図 （平成26年度現在）



各校協議会並びに各校校友会も以下の組織を構成する

